

非選択性除草剤

# クサトールFP<sup>®</sup> 粒剤

一年生雑草と、  
タケ・ササ・ススキ防除に!!

## 特長

- 1 公園・駐車場・道路・提とう・宅地など、幅広く使用できます。
- 2 タケ・ササ・チガヤ・ススキなどの防除に最適です。



## ■適用雑草と使用方法

作物名	適用場所 使用目的	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む 農業の総使用回数
開墾後に栽培する 農作物等	開墾地	一年生及び 多年生雑草 雑かん木 ササ類 ススキ	雑草生育期 (積雪時及び土壤 凍結時を除く)	15~25kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内
まつ からまつ えぞまつ とどまつ ぶな かんば	地ごしらえ					空中散布	
				下刈り		全面均一散布	
	空中散布						
まつ からまつ えぞまつ とどまつ	地ごしらえ 又は下刈り	ススキ	雑草生育期 (草丈20cm以下)	30g/株径20cm 60g/株径30cm 85g/株径40cm	1回	株処理	
すぎ ひのき	地ごしらえ	一年生及び 多年生雑草 雑かん木 ササ類 ススキ	雑草生育期 (積雪時及び土壤 凍結時を除く)	15~25kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内(全面土壌散布は1回 以内、但し当該処理をする 場合には雑草茎葉散布、 全面均一散布、空中散布 及び株処理は合計1回以内)
	下刈り			10~20kg/10a		空中散布	
		地ごしらえ 又は下刈り	ススキ	雑草生育期 (草丈20cm以下)	30g/株径20cm 60g/株径30cm 85g/株径40cm	1回	
	林地 放置竹林						
樹木等	公園、提とう 駐車場、道路 運動場、宅地 のり面等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育 初期~中期	15~25kg/10a	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺地 に雑草茎葉散布	3回以内(全面土壌散布は 1回以内、但し当該処理を する場合には雑草茎葉散布 は1回以内)
		竹類	生育期	45~60kg/10a	1回	植栽地を除く 樹木等の周辺地 に全面土壌散布	

作物名	適用雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用 地帯	塩素酸塩を含む 農業の総使用回数
水稻(水稻刈取跡)	一年生雑草 多年生イネ科雑草	水稻刈取後 (秋期雑草生育期)	全土壌	20~25kg/10a	1回	水稻刈取跡に 全面土壌散布	東北 以南	—

## ■使い方 散布 ●空中散布の場合、ヘリコプター用微粒剤散布装置によって散布してください。

### △効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 本剤は主として根から吸収されて雑草を枯死させる除草剤で、ススキを抑制、枯殺するには株元やその周辺にスポット散布してください。
- 雑かん木、ススキ、一年生及び多年生雑草防除に使用する場合は、対象雑草が萌芽し、新葉が展葉をはじめた時期に散布してください。
- 地ごしらえの場合は、手まき、手動または、風速の大きい動力散布機で地ごしらえ地全面にまき残しのないように散布してください。
- 下刈り場合は、風速を小さくした動力散布機で茎葉または土壌表面に均一に散布してください。
- 本剤は空中散布の場合、ヘリコプター用微粒剤散布装置によって散布してください。
- 降雨時の散布または降雨の予想される時の散布は、効果を減らすので散布を見合わせてください。
- 下刈りの場合、降雨時または降雨後など、植栽木の茎葉がぬれている時の散布は、薬害を生ずるおそれがあるので、植栽木をさけて散布してください。
- 開こん地、または林地の地ごしらえに使用した場合、散布後3ヵ月以内は樹木の植付、播種などはしないでください。
- 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしないでください。
- 本剤を水稻刈り取り跡に使用する場合には、次の事項に注意してください。
  - 1) 本剤は一年生雑草及び多年生イネ科雑草防除を目的として使用し、多年生イネ科雑草を除くウリカワ、ミスガヤツリ、などの多年生雑草には効果が期待できないので注意してください。
  - 2) 一年生雑草及び多年生イネ科雑草防除に使用する場合は、水稻刈取後、秋期雑草生育期に使用してください。
  - 3) 本剤は排水良好な一毛作田で使用し、散布前に落水し、全面均一に散布してください。
  - 4) 本剤の連用はさけてください。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の周辺地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しないでください。また、樹木等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさけてください。

### △安全使用上の注意

- 医薬用外劇物です。取り扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗いし、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布前後には散布機をよく清掃して油や汚れを拭き取ってください。
- 散布時本剤が身体や作業衣に付着の少ないよう風向等に注意し、散布したところを歩かないでください。
- 本剤のしみこんだ作業衣は、作業後水洗いしてください。
- 水源・飲料水等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。
- 散布に使用した器具、容器の洗浄水は河川等に流さず容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗顔してください。
- 本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので保管に注意し、また使用直後の使用区域への家畜の放飼は行わないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

### ■保管取扱上の注意 ★盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

- 必ず責任者を決めて保管庫に入れ、カギをかけて保管してください。
- 密封し、火気やさけ、食品と区別して、直射日光のあたらない涼涼・乾燥した所に保管してください。
- 使用残りの薬剤は必ずカギのかかる安全な場所に責任者を決めて保管してください。
- リン・イオウ・アンモニア塩類及びアンモニア性肥料、ガソリン・灯油等の油類、強酸性物質、木・繊維類のような可燃物との混合は危険なので、同一保管をさけてください。
- ★火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努めてください。
- ★漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- ★移送取扱いは、ていねいに行ってください。

●使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

★ラベルをよく読んでください。★記載以外には使用しないでください。★小児の手の届く所には置かないでください。